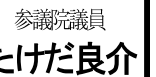




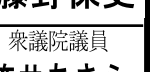
市議会議員  
砂田喜昭  
Tel 67-4322



参議院議員  
井上哲士



参議院議員  
たけだ良介



衆議院議員  
藤野保史

# 「8月末で取り壊しは認めない」 市議会委員会

市が7月29日開かれた市議会公共施設再編特別委員会で、「城山まちなかトイレを8月末には取り壊したい」「新しいコミュニティプラザをつくるための重機を入れるためだ」と述べたため、議会側は猛反発しました。

砂田市議は、「私は元もこのまちなかトイレを壊すことには反対だった。しかし新しい施設に同じトイレをつくって取り壊すのなら、理解できないでもないが、新コミュニティプラザが完成するまで1年間もまちなかトイレが使えなくなるのは納得できない。工事用重機を入れるためだというのが、石動小学校を改築した際の工事用車両の出入りには、旧国道8号から仮設道路をつくって工事をし、完了したらその仮設道路を元の田に戻した。新コミュ

ニティプラザの場合も、いまの駐車場の下にもうひとつ新しく駐車場をつくっている。そこから重機を入れることができるのではないかと述べました。F議員は「市民にたいへん良く使われているトイレだ。それを『1年間も使えない、その代わりに工事用仮設トイレの兼用を業者と相談する』などというのは納得できない」と口火を切りました。N議員は「そんなやり方には、議会として反対だ」と言明しました。

「業者の都合を聞くばかりではダメだ、市民の立場で市は考えてもらいたい」という委員会での活発な議論をふまえて吉田委員長は「しっかりと当局に申し入れる」と、とりまとめました。

## 城山まちなかトイレ

### 「戦争の悲惨さ、平和の尊さを広げたい」

#### 広島平和祈念式典へ出発式で 中学生があいさつ



広島市平和記念式典に参加する市内の中学生8名の出発式が、8月5日(月)7時30分より小矢部市役所玄関ポーチで行われました。

参加の4中学校代表がそれぞれ自己紹介をした後、桜井市長が平成22年から始まった中学生派遣事業の意義を説明して中学生を激励しました。

教育長や4中学校の校長などの激励の後、蟹谷中学校の田中駿也君と川合理絵さんが、「戦争の悲惨さと平和の尊さを感じてきます。持ち帰って学校で広げたい」とあいさつしました。

### 小矢部平和委員会が激励

式後、小矢部平和委員会の荒木義昭さんが、多くの市民から寄せられた募金より金一封を贈り、「暑さを感じて、ヒロシマを感じてきてください」と激励しました。保護者や、学校関係者、平和を願う人々約30名が見守りました。

### 第59回富山県母親大会開催

第59回富山県母親大会が8月4日富山市のサンフォルテで開かれ、小矢部市からは5人が参加しました。

「命を生み出す母親は 命を育て 命を守ることを臨みます」のスローガンのもと全国各県で同大会が開かれており、この後、今年は静岡での日本母親大会へと続きます。



枝元なほみさん

午前中は、7つの部会に分かれて講師・助言者とともにそれぞれの疑問や考えを話し合いました。午後、はNHK「今日の料理」でおなじみの枝元なほみさんが「食べることはいけること、食を通して考える安全・安心・平和な暮らし」と題して講演されました。

「私たちは毎日3回食を通して社会とつながっている」、なんとわかりやすい言葉だろうか。

TPPや日米EFTA(政府はTAGとうそぶいている)などで海外の安い食料がはいつてくることでの日本の農業への影響。とりわけ問題なのは遺伝子組み換え食品とそれ以外のすべての植物を枯らしてしまう除草剤(ベトナムの枯葉剤を作ったアメリカの会社が開発したもの)。日本政府が米、小麦、大豆など国民になくならない食品を守るための種子法をなくしてしまった。種をなくすると手に入れるには海外の大きな会社が作った人体に問題のあることがわかってきつつある遺伝子組み換えの種を高い金額で買わざるを得なくなる。こうなると日本の農業も日本人の健康も守れない、これでいいのかと枝元さんは問いかけられました。

さらに驚いたのは遺伝子組み換え食品はアメリカの何倍も日本でも許可されているということ。遺伝子組み換え種子と除草剤ラウンドアップなど世界で禁止する国が出てくる中で、日本は禁止してないのでどんどん入った来ているという。

そこまで聞いた時、お金持ちの人たちが、有機食品だけを扱っているというスーパーで高い買い物している姿と安い外食や、アメリカ系的大型スーパーで安い買い物している若い人の姿でした。(T・E)

## 知ってびっくり、これは大変だ

### 参加者の感想